

会議等記録簿

会議名	令和8年度 第3回 グループホーム・栄田運営推進会議	記録者	職員 H
日 時	自 R 8 年 8 月 27 日 13 時 58 分 至 R 8 年 8 月 27 日 14 時 42 分	出席者 ※下記参照	
場 所	グループホーム・栄田 1階リビング		
議 題	1. 令和8年7月地震想定避難訓練報告、2. 令和8年6月活動報告について 3. 令和8年7月活動報告について、4. 意見交換・その他		
	【出席者】 ご利用者ご家族代表：A様、B様 諫早市代表 ：C様 認知症対応型共同生活介護について知見を有する者 ：D様、職員E 職員 ：職員F、職員G、職員H 〈 挨拶 〉 （職員G）本日はお忙しい中、令和8年度第3回運営推進会議にご出席いただき、ありがとうございます。また、日頃より当事業所の運営につきましてご家族の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様には温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。 前回の会議以降も入居者様が安心して生活していただけるよう、職員一同、日々の健康管理や安全面に十分配慮しながら支援を行っております。また前回ご報告いたしましたノロウイルスの集団感染を経験したことを踏まえ、感染症対策について改めて職員間での情報共有や衛生管理を徹底し、再発防止に努めております。さらに、先日の災害級の大雨をはじめ、近年は自然災害がいつ発生してもおかしくない状況となっております。当事業所におきましても災害発生時に入居者様の安全を最優先に確保できるよう、避難訓練やBCPの見直し、職員間の連携強化など防災対策にも引き続き取り組んでまいります。本日の運営推進会議におきましても皆様からいただくご意見やご助言を大切に、地域の皆様に信頼され、入居者様が安心して生活できる施設づくりにつなげていきたいと考えております。本日も限られた時間ではございますが、どうぞ忌憚のないご意見をいただきますようよろしくお願いいたします。 1. 令和8年7月 地震想定避難訓練報告について （職員G）実施期日は令和8年7月28日（火）14時から15時です。内容としまして、14時頃、南海トラフ巨大地震が発生（マグニチュード8想定）。14時5分、諫早市は震度5弱の長時間の揺れが発生。諫早市の危機管理課の指針で、南海トラフ地震がマグニチュード8で発生した時は5弱の地震を想定しています。 14時半頃、地震も落ち着き、被害状況を確認し、避難誘導を行う。一次避難所として御館山小学校グラウンド、二次避難所として本野ふれあい会館としまして避難訓練を実施しております。 職員の班の役割として、看護救護班は負傷者の救護及び応急措置、医療機関への連絡及び搬送。避難誘導班は避難場所及び避難経路の確認、避難経路の障害物の除去、入居者の避難誘導、対策本部総務班への連絡。情報連絡班は災害の情報収集、職員への連絡、職員や職員家族の安否確認、消防機関、市役所等関係機関		

との連絡・調整、入居者家族への連絡、他の社会福祉施設との支援調整、避難状況の取りまとめを行います。風水害避難訓練とは違い、今回地震想定BCPを想定した訓練をしておりますので対策本部総務班があります。こちらは各拠点及び関係各部署との連絡係（窓口）、災害情報の収集としてマネージャーに担当していただきました。

訓練の参加者ですが、グループホーム入居者18名、職員7名、市役所職員（危機管理課）より2名の合計27名です。実際に本野ふれあい会館へ避難していただいた入居者は2名、職員2名が同行しています。施設から荷物をまとめて避難しましたが一次避難所の御館山小学校グラウンドまでは12分4秒かかっています。次の二次避難所の本野ふれあい会館までは24分14秒かかっている状況です。

それでは訓練時の写真をご覧ください。（別紙の訓練状況の写真資料に沿って説明する）地震発生時は入居者の皆様には机の下に避難してもらいました。

その後30分間揺れがないことを確認し、インターネットで情報収集を行ったり、建物の破損確認を行い、ライフラインの水道、ガス、電気の確認を行いました。ライフラインが停止したとの想定で避難訓練開始と指示を出しました。避難の物品や荷物等の準備、ヘルメット着用して避難場所に避難誘導しています。

避難所に着いてからは諫早市役所危機管理課の2名、入居者2名、職員2名で反省会を行い、改善点の話をしました。その時に市役所の方から簡易ベッド等も準備できますよとのことで入居者様に体験していただきました。

次に総評として、避難準備や避難について職員からの意見です。

前回の風水害想定訓練とは違い、必要最小限であっても物品が多くなり、どこまでが必要か判断に時間を要した。避難準備の際、食べ物（牛丼3食×3日分）のみだった為、もう少し工夫する必要があると思う。水2Lを3本手荷物で準備したが手荷物としては重く、女性職員でも持てる工夫が必要と思う。

地震想定避難訓練の為、ランタンの準備を怠ってしまった。施設のインフラの確認の際、今何が使える、使えないかで今後の対応にも影響が出ると感じた。

この施設で全てのインフラが使用できればここで待機してもよいのではないと思う。避難経路では高い橋を通る経路もある為、地震の際は危険と考え利用しない方がよいと思う。スタッフの皆さんが自身の役割を声を掛け合っていたのでとてもよかった。避難訓練後、実際に地震が起こり入居者様を机の下に避難させないと思っていたのも恐怖で動けなかった。車いす利用者様は机下に避難するのにリスクがある為、頭部を守るようにヘルメットが必要と思う。現在、施設にはヘルメットが3名分しかない為、ヘルメットの購入が必要と思った。地震は台風や大雨のように事前に予測して備えることができない。地震の規模や被害も発生しないとわからないことが多かった。幸いなことに自分自身、大きな地震や水害を経験していない為、危機感はうすいと思った。今回の訓練後に熊本地震が発生し余震が続いているが地震での被害や避難生活の情報も出てくると思うので今後の備えに役立てていきたい。避難誘導時、手荷物ではなく両手が使えるように施設用のリュックが必要と思いました。今回の避難で持参した手荷物の重量が重く、抱えて運ぶのは容易ではなかったとの意見がありました。

その他、諫早市役所の危機管理課の方より、グループホーム栄田防災講座をしていただきました。また、避難で持っていった持ち物も見えていただきました。薬や水、食料、今回ランタンは持っていきなかったのですがヘッドライトを持参して代用していたので特に問題はないとのことでした。

（このあと、ハザードマップを活用して、今回の実際の避難ルートを見ていただく）

このルートは総評にもあった高い橋があり、地震があった時にヒビが入ったり段差ができる可能性があるので、このルートは使わないようにしたいと思っています。今実際に、本野ふれあい会館の方は説明した道を通るのですが時と場合によって土砂崩れが起きて通行できなかったりするので、その時は状況を見て、川の側面を通して本野に行ける道がありますので第2ルート、第3ルートを考えながら避難誘導していきたいと考えております。

また、避難について今回の課題として、車いすの方を机の下に避難させることが難しかったので、避難の方法について勉強会を兼ねて入居者様が安全に生活できるよう対策を進めたいと思っています。以上、令和8年7月地震想定避難訓練報告となります。ご質問等ございませんでしょうか。

(C 様) 総評を確認しているなかで、食べ物や飲み物について工夫の必要があったとのことですが今のところ決まっているものはありますか。

(職員 G) まだありません。

(C 様) この食べ物の部分の牛丼3食というのはレトルトでしょうか。

(職員 G) はい。今回は牛丼のみ準備しましたが、非常食は中華丼やカレー等があります。牛丼も3食3日分となると我々も飽きると思いますので、いろいろな種類の物を分けて持参したいと考えております。

(C 様) このレトルトは冷凍されているものですか。

(職員 G) 常温です。また、食器も使い捨ての物も考えたのですが、何日分もとなるとかさばると思うので、紙皿にサランラップをひいて食べてもらおうと洗わなくて済むのかなと思っています。今後に向けて必要な物など見直ししながら、できることをやっていきたいと考えています。他、ご意見等ございませんか。

(職員 F) 今回2人だけ避難して本野ふれあい会館までおよそ20分くらいかかるということですが、これを18名と考えたらざっくり3時間ぐらいはかかるということが数字上ではわかると思います。その時間の中で二次被害とか道の状況に注意しながら誘導する必要があると感じています。

(職員 G) 一つ追加ですが、なぜ本野ふれあい会館だったかと言いますと、ここには発電機があるからです。軽油を使う発電機で満タンの状態で使えるのが5時間と言われていますが近くにガソリンスタンドがありますのですぐに補給できる状況です。ただ、給水タンクがない為、準備が必要になります。あと、和室があり150人収容できる場所なので大丈夫かと思いますが、避難所の込み具合を見ながら避難を検討したいと思っています。

2. 令和8年6月 1階活動報告、2階活動報告について

(職員 G) 令和8年6月の活動報告になります。6月30日時点で9名在籍、男性0名、女性9名、平均年齢は83.9歳、平均介護度2.9でした。

主な受診機関は記載の通りです。入院は特にありませんでした。

職員研修等は事業所内勉強会としてBCP動画研修、業務継続計画（BCP）とは何かを学びました。口腔衛生指導として口腔ケアの方法と手順についてでした。

行事はA氏の誕生日会を行いました。外出では施設周辺の紫陽花を見に行きました。その他としてクラフト活動や夏野菜の収穫をしています。

次に6月の2階活動報告です。6月30日時点で9名在籍、男性1名、女性8名、平均年齢は86.6歳、平均介護度は2.6です。主な受診機関は記載の通りです。

入院はありませんでした。職員研修等は1階同様です。行事は6月21日に父の日会を行いました。その他としてクラフト活動や夏野菜の収穫をしています。

それでは写真資料もご覧ください。夏野菜を収穫している様子やクラフト活動の様子です。カエルやてるてる坊主を作っているところです。他、誕生日会の様子、父の日の会場でノンアルコールビールを飲んでいただいている写真となります。ちなみに夏野菜ですが、きゅうりや枝豆を収穫して食べてもらっている様子の写真もあります。

3. 令和8年7月 1階活動報告、2階活動報告について

(職員 G) 令和8年7月の活動報告になります。7月31日時点で9名在籍、男性0名、女性9名、平均年齢と平均介護度は6月と変更ありません。主な受診機関は記載の通りです。入院はありません。職員研修等は諫早市グループホーム連絡協議会の研修で、『蔓延させない感染症の対策 本当にできていますか？グループホームの環境でできること』について学びました。事業所内勉強会は食中毒に関する研修及び認知症に関する研修でした。他、生産性向上ビギナーセミナーにZOOMで参加しています。平成会の階層別研修の初級になりますが、『ひとりで抱え込まないセルフケア研修』を受講しています。口腔衛生指導は8020についてでした。行事は7月7日に七夕をしました。外出は近くの公園まで散歩したり、施設の駐車場から7月25日の川祭りの花火を見られました。その他はクラフト活動や夏野菜の収穫をしています。

次に7月の2階活動報告です。7月31日時点で9名在籍、男性1名、女性8名、平均年齢は86.7歳、平均介護度は6月と変更ありません。主な受診機関は記載の通りです。入院はありませんでした。職員研修等は生産性向上ビギナーセミナーと階層別研修以外は1階と同様です。行事は7月7日に七夕をしています。他、B氏の誕生日会をしています。その他、クラフト活動や夏野菜の収穫をしています。それでは写真資料もご覧ください。7月は七夕会で短冊を書いてもらい、それをラミネートして風鈴と飾っています。ご家族様にも面会時に見ていただけたらと思っています。その他の追加になりますが習字、園芸も行っています。以上が6月と7月の活動報告になります。ご意見、ご質問ございませんか。

(C 様) 園芸とかかかれています、写真を見るにどこなんだろうと思いました。

(職員 G) 目の前に畑がありまして1階は畑を使って収穫しています。2階はなかなか降りることがないのでベランダでプランターにて夏野菜を作って収穫する活動を楽しんでいただいています。

(C 様) 力があるとか負担にならない距離ですね。6月は外も大雨で危ない所もありましたのでお聞きしました。

(職員 G) 他にご意見等ございませんか。

(A 様) 利用者に寄り添っていただいている場面をみておりますので、そういう面では安心しています。ただ、地震の時は本野ふれあい会館になるのかもしれないと思うのですが、大雨の時は本野は危ないかなとったりもしました。

(職員 G) 本野の場合は川が近く氾濫する可能性がありますので、水害の時は市役所が避難所として開設しないようになっております。市役所が避難所として開設できる所とできない所を見極めして問題なければ開設すると言われていきます。

(B 様) 本野ふれあい会館に行く時の橋は北バイパスの所ですか。

(職員 G) そうです。高い橋になっていて地震があった時にもしかするとヒビが入るかもしれない、段差もあって実際に通れない可能性もありますので危険のリスクはあると思います。熊本の地震でも橋の一部に亀裂が入ったりしているので橋を通るのは危ないのではと考えています。

(B 様) 状況を見ながらとすると、あの鉄道沿いの道路ですね。そうすると混みますよね。

(職員 G) そこはどうしようもないのかなと思いますが、避難経路としては本明川の側面を行けるルートもありますので考慮しながら、パターンを3パターン作りたいと思っています。今は1パターン目なので危機管理課とも相談しながら考えて進めたいと思います。

その他、ご意見等ございませんでしょうか。ないようでしたら令和8年度第3回運営推進会議を終了いたします。次回のご案内です。令和8年10月22日(木)、14時から予定しておりますのでよろしくお願いいたします。本日は出席していただきありがとうございました。